



**Information Attendant / Ganymede with File Search**

---

## 仮想フォルダ登録マニュアル

2018 年 04 月 08 日

Ver 1.00

FCS – Techno

---

## お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

---

## 目次

改訂履歴 .....	i
目次.....	ii
1. 初めに.....	3
1.1. 本書の目的と対象読者 .....	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について.....	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境.....	3
2. Ganymede with File Search 仮想フォルダの登録 .....	4
2.1. 仮想フォルダに切り替え .....	4
2.2. 新規のベース仮想フォルダの登録.....	5
2.3. ファイル表示の仮想フォルダの登録 .....	6
2.4. ベース仮想フォルダおよび下位仮想フォルダの制約事項 .....	7
3. ファイル拡張子の登録.....	8
3.1. ファイル拡張子の表示／登録画面.....	8
3.2. 操作対象のファイル拡張子の一覧表示.....	9
3.3. 下位仮想フォルダでのファイル拡張子の選択.....	10
3.4. 表示ファイルに対するフィルタ設定 .....	10
3.5. フィルタ設定の編集画面 .....	11
4. ベース分類グループの登録.....	13
4.1. 登録画面への切り替え .....	13
4.2. 分類グループの登録画面 .....	14
4.3. 基準グループの登録処理 .....	14
4.4. ベース分類グループの登録画面 .....	15
4.5. ベース分類グループの選択画面 .....	15
5. 利用者ユーザー登録分類グループの登録.....	16
5.1. 仮想フォルダに分類グループを登録 .....	17
5.2. エントリー分類グループの編集画面 .....	17
5.3. 分類グループの追加登録 .....	18

## 1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対しての本製品の導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

### 1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「**Windows Server 役割の概要**」をご理解されているユーザー様の設定支援を目的として記載しております。

- ・ Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- ・ Windows IIS に関してご理解されている。
- ・ Web サーバーの役割に関してご理解されている。
- ・ IIS における認証方法の違いをご理解されている。
- ・ ネットワーク環境における IIS への接続環境の構成状況をご理解されている。
- ・ Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている

### 1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

### 1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- ・ CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- ・ OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- ・ メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- ・ HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数の増加によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

## 2. Ganymede with File Search 仮想フォルダの登録

Ganymede with File Search は、仮想フォルダを基準として検索ファイルの管理を行います。

検索ファイルはどれかの仮想フォルダにリンクする必要がある有ります。

尚、検索ファイルは「**ファイル拡張子**」を基準にして集約管理します。ですので仮想フォルダに対するリンク処理も「**ファイル拡張子**」単位で行います。

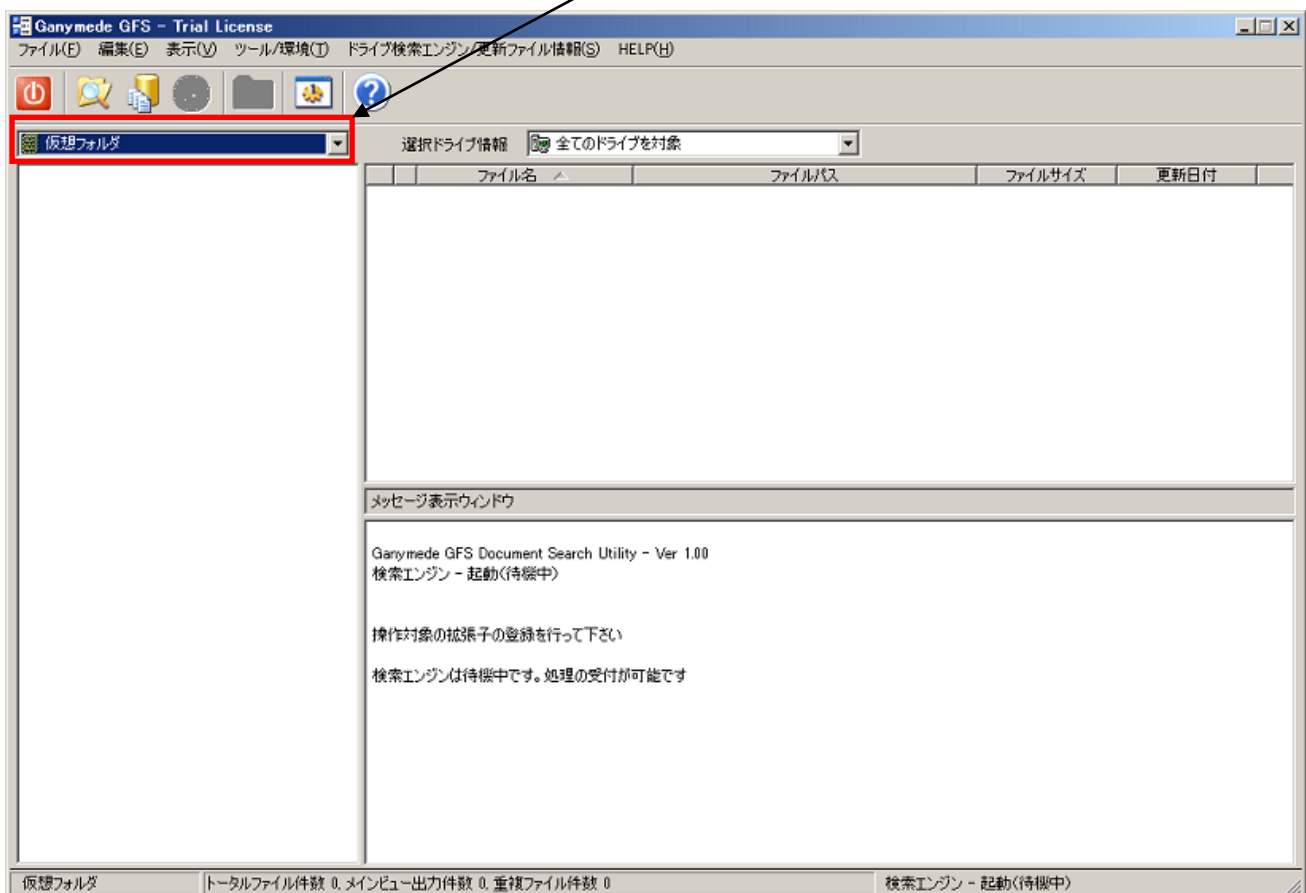
登録済みの仮想フォルダ情報のエクスポート機能およびインポート機能は実装していません。

仮想フォルダおよびファイル拡張子に関する操作は管理マネージャー画面で行います。

尚、本操作を行う場合は、「**コアエンジンは起動状態**」で実施して下さい。「**コアエンジンが停止状態**」で行った場合、Web サイトへのリアルタイムな反映が行えない状況となります。

### 2.1. 仮想フォルダに切り替え

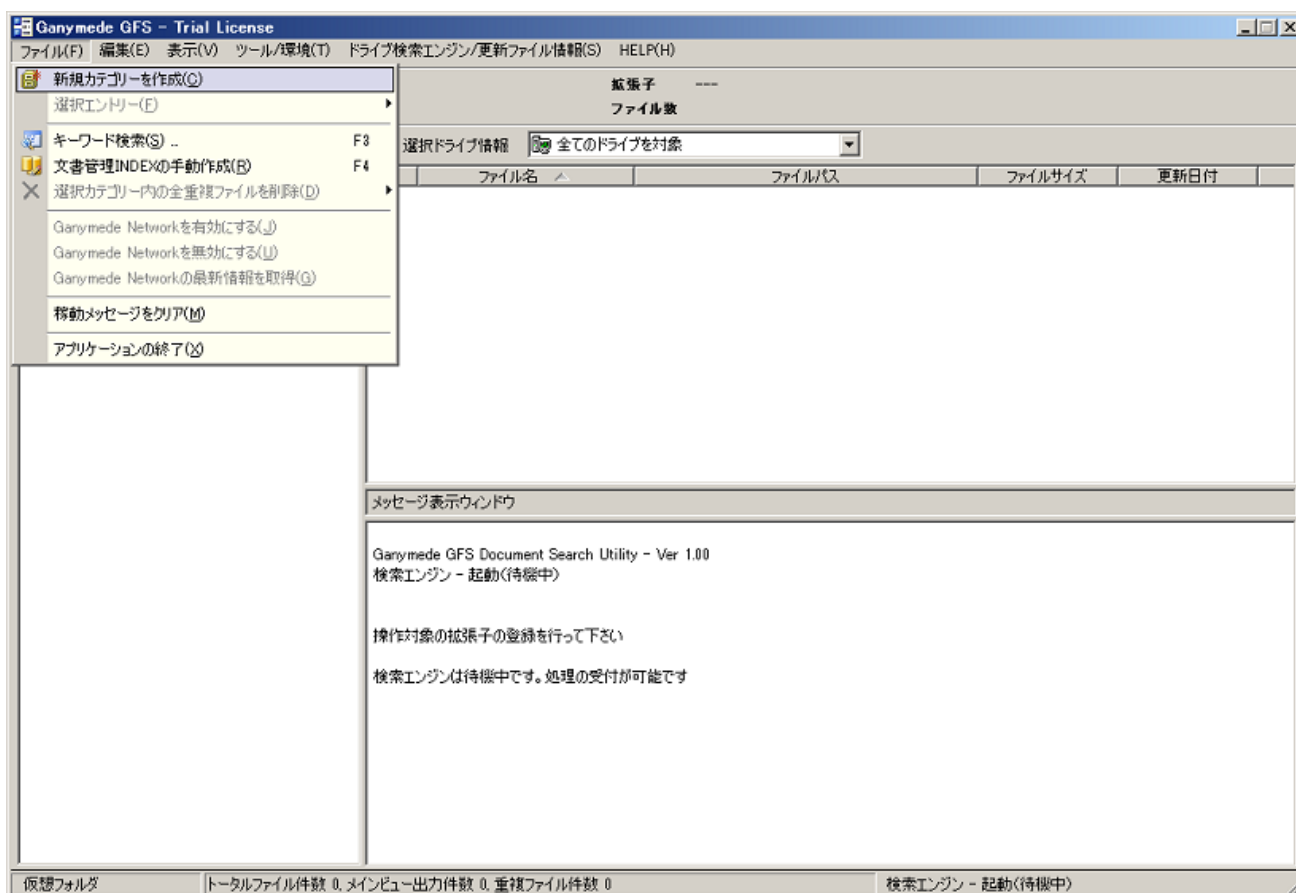
仮想フォルダを選択



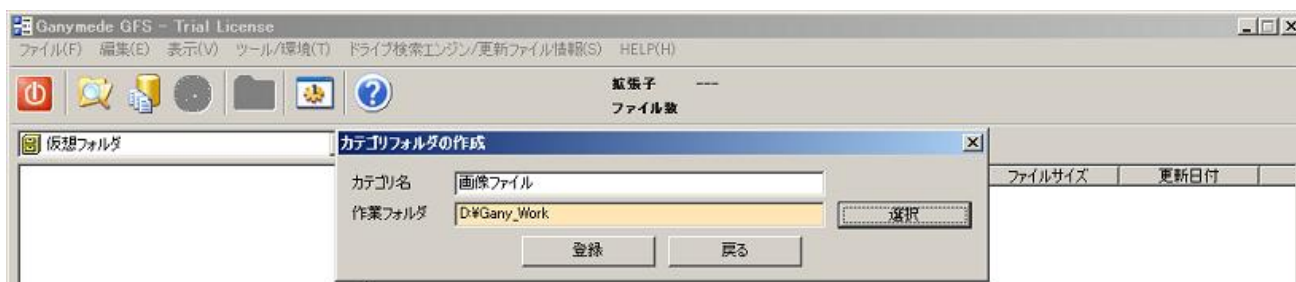
サーバー側の管理マネージャー画面を起動し、「**仮想フォルダ／分類グループ**」の切り替えコンボボックスの選択内容を「仮想フォルダ」に切り替えて下さい。

仮想フォルダの操作モードに切り替えます。

## 2.2. 新規のベース仮想フォルダの登録



ファイルメニュー内の「新規カテゴリーを作成」を選択し新規エントリーの入力画面を起動します。



## 【カテゴリ名】

- ・重複しないカテゴリ名を入力して下さい。
- ・登録後もカテゴリ名の変更は行えます。
- ・分類グループ名との重複に関してはチェックしません。

## 【作業フォルダ】

- ・登録する仮想フォルダ用の作業フォルダを選択して下さい。
- ・OS のワークフォルダを本作業フォルダに割り当てる事は行わないで下さい。
- ・他の仮想フォルダに登録した作業フォルダの登録も行えます。

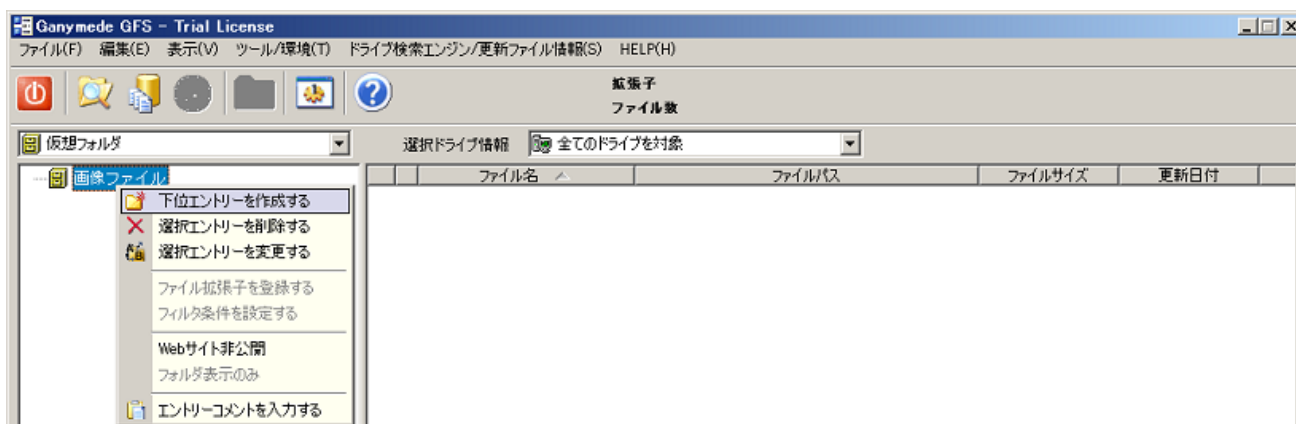
### 2.3. ファイル表示の仮想フォルダの登録

検索ファイルを表示する仮想フォルダは、ベース仮想フォルダ内に作成した仮想フォルダが表示します。

ベース仮想フォルダは、検索ファイルの表示は行いません。

ベース仮想フォルダの役割は、「リンクした拡張子情報の保持」「リンクした分類グループ情報の保持」が主な役割です。実ファイルの表示は下位の仮想フォルダが行います。

下位の仮想フォルダは、上位の仮想フォルダに設定した情報を引き継ぎます。上位とは異なる条件の登録を行う事はできません。



作成する仮想フォルダを選択してマウスボタン右クリック → 「下位エントリーを作成する」を選択して、新規仮想フォルダのエントリー入力画面を起動します。



#### 【カテゴリ名】

- ・重複しないカテゴリ名を入力して下さい。
- ・登録後もカテゴリ名の変更は行えます。
- ・分類グループ名との重複に関してはチェックしません。

#### 【作業フォルダ】

- ・登録する分類グループ用の作業フォルダを選択して下さい。
- ・OS のワークフォルダを本作業フォルダに割り当てる事は行わないで下さい。
- ・他の仮想フォルダに登録した作業フォルダの登録も行えます。



## 2.4. ベース仮想フォルダおよび下位仮想フォルダの制約事項

仮想フォルダと下位仮想フォルダには制約事項があります。制約事項を超えて登録することはできません。また、「Edition」別での制約事項もあります。

「Edition」別での制約事項に関しましては、「Edition」別の機能一覧に詳しく記載しております。

仮想フォルダの階層は、ベース仮想フォルダも含めて「**6階層**」までです。

仮想フォルダの構成単位は、「**ベース仮想フォルダ**」 + 「**下位仮想フォルダ**」の形式で管理します。

### 【ベース仮想フォルダ】

- ・ 下位仮想フォルダ名も含めてカテゴリ名の重複は行えません。
- ・ 作業フォルダの登録は必須項目です。
- ・ ベース仮想フォルダのフォルダ名は、半角英数字で「**56 文字**」以内に収めて下さい。
- ・ 作業フォルダのフォルダ名の長さは、半角英数字で「**190 文字**」までです。
- ・ ベース仮想フォルダとして登録可能な件数は、最大で「**100 フォルダ**」です。
- ・ 下位仮想フォルダの登録可能な件数は、最大で「**25 フォルダ**」です。
- ・ ベース仮想フォルダにリンク可能なファイル拡張子は、最大で「**30 エントリー**」です。
- ・ ベース仮想フォルダにリンク可能な基準グループは、最大で「**120 グループ**」です。
- ・ ベース仮想フォルダを削除した場合は、下位の仮想フォルダおよび個々の仮想フォルダにリンクした分類グループ情報、拡張子情報を切り離します。
- ・ 削除の対象となった仮想フォルダを Web サイトより閲覧している状況でも削除処理は実施します。
- ・ 利用者の検索ファイルの閲覧は、ベース仮想フォルダが基準となります。

### 【下位仮想フォルダ】

- ・ ベース仮想フォルダも含めてカテゴリ名の重複は行えません。
- ・ 作業フォルダの登録は必須項目です。
- ・ 下位仮想フォルダのフォルダ名は、半角英数字で「**56 文字**」以内に収めて下さい。
- ・ 作業フォルダのフォルダ名の長さは、半角英数字で「**190 文字**」までです。
- ・ 下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**11,800 フォルダ**」です。
- ・ 1 段目下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**800 フォルダ**」です。
- ・ 2 段目下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**1,600 フォルダ**」です。
- ・ 3 段目下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**2,400 フォルダ**」です。
- ・ 4 段目下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**3,000 フォルダ**」です。
- ・ 5 段目下位仮想フォルダ全体として登録可能な件数は、最大で「**4,000 フォルダ**」です。
- ・ 下位仮想フォルダの登録可能な件数は、最大で「**25 フォルダ**」です。
- ・ 仮想フォルダを削除した場合は、下位の仮想フォルダおよび個々の仮想フォルダにリンクした分類グループ情報、拡張子情報を切り離します。
- ・ 削除の対象となった仮想フォルダを Web サイトより閲覧している状況でも削除処理は実施します。
- ・ 仮想フォルダとのリンク情報も削除されます。
- ・ 仮想フォルダの移動は行えません。移動させる場合は、現行の仮想フォルダを削除、移動先の仮想フォルダに新規登録を実施する。

### 3. ファイル拡張子の登録

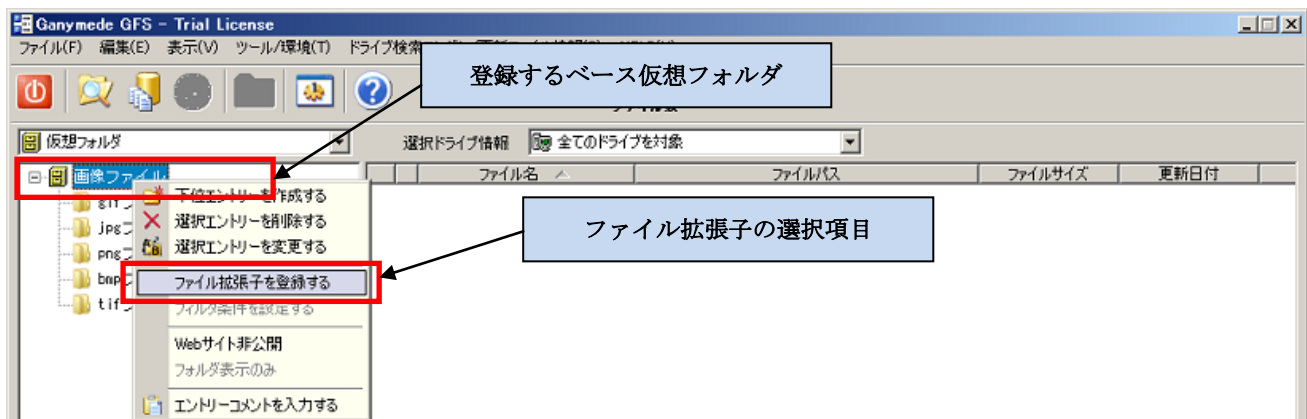
Ganymede with File Search で閲覧するファイル拡張子のリンク情報の登録を行います。本製品を利用したファイル検索を行う場合は必ず登録して下さい。未登録のファイル拡張子の閲覧は行えません。

登録済みの拡張子情報のエクスポート機能およびインポート機能は実装しておりません。

検索対象のファイル拡張子に関する編集方法に関しましては、「**拡張子編**」を参照して下さい。

尚、編集内容の適用はリアルタイムに行いますが、本製品のシステム構成の都合上、ログイン中の利用者は変更内容に基づいたファイルの検索処理は行えません。変更内容に基づくファイル検索を行う場合は、再ログインが必要となります。

#### 3.1. ファイル拡張子の表示／登録画面



拡張子の登録を行うベース仮想フォルダを選択状態にし、マウスボタン右クリック → POPUP メニュー内の「**ファイル拡張子を登録する**」を選択して下さい。リンク設定を行う編集画面を起動します。

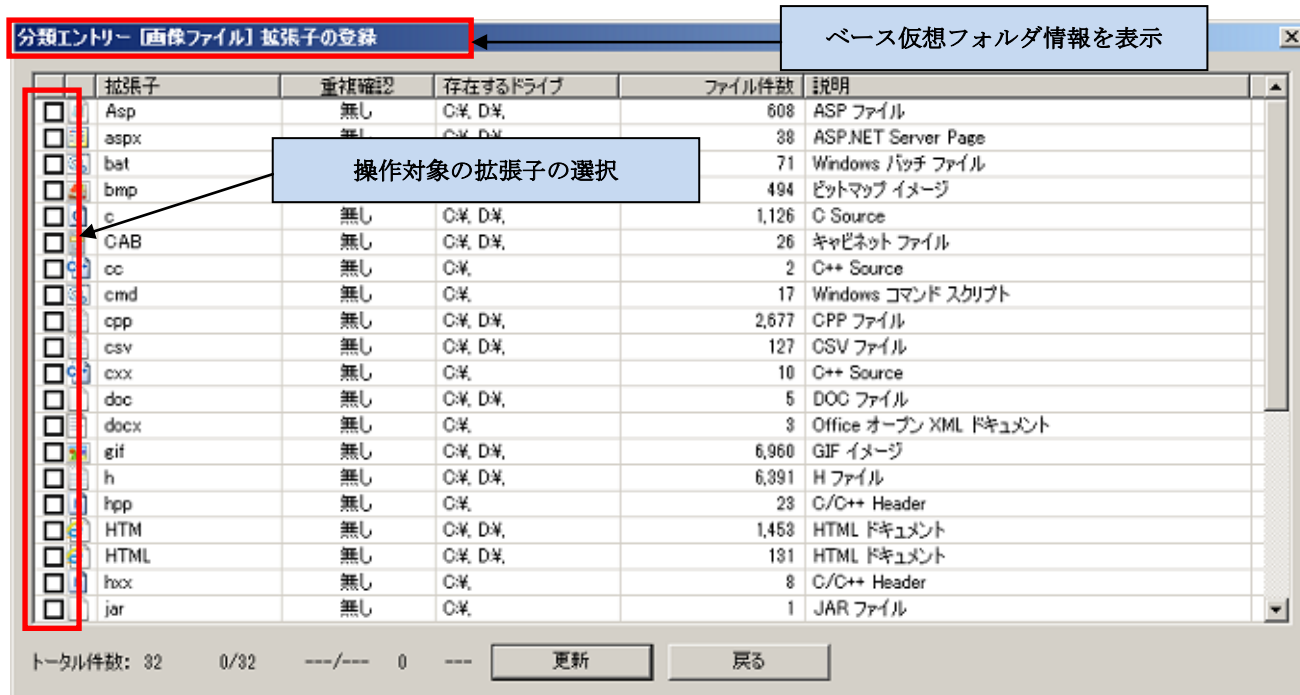
ファイル拡張子を登録するが「**選択不可**」の状況の場合は、操作対象の拡張子が未選択の状態です。

Ganymede with File Search として操作の対象とするファイル拡張子の事前選択は必須要件です。

ベース仮想フォルダに登録したファイル拡張子のみが、そのベース仮想フォルダの子フォルダとして登録した下位仮想フォルダへの登録が行えます。ベース仮想フォルダに未登録の拡張子の登録は行えません。

尚、同一の拡張子を複数のベース仮想フォルダに対して登録する事は可能です。拡張子登録における重複登録に関しましては、一切の制約はありません。

## 3.2. 操作対象のファイル拡張子の一覧表示



操作対象として選択された拡張子情報が一覧表示されます。

本ベース仮想フォルダでの操作対象とする拡張子を選択します。

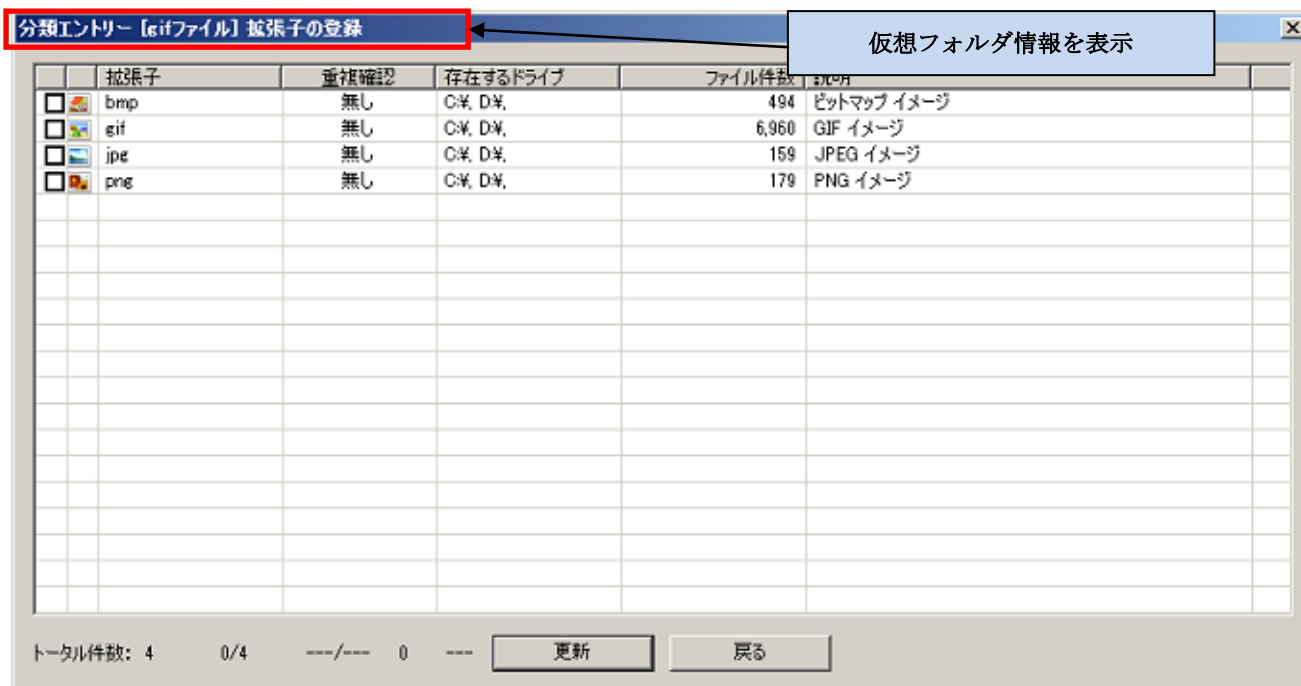


操作対象の拡張子の選択後、「更新」ボタンをクリックして下さい。

チェック状態の拡張子が操作対象の拡張子として登録されます。

### 3.3. 下位仮想フォルダでのファイル拡張子の選択

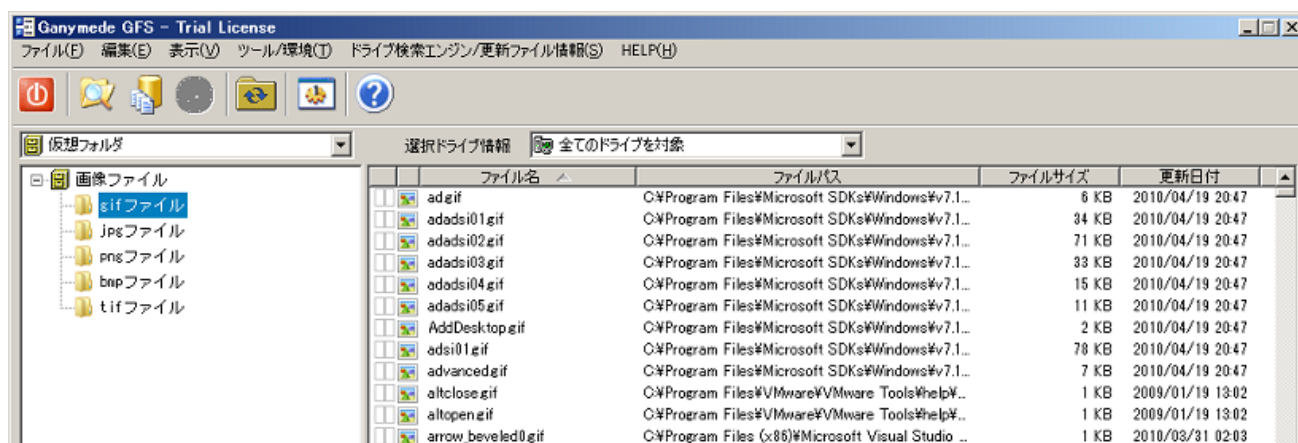
拡張子の登録を行う仮想フォルダを選択状態にし、マウスボタン右クリック → POPUP メニュー内の「ファイル拡張子を登録する」を選択して下さい。リンク設定を行う編集画面を起動します。



上位仮想フォルダで操作対象として選択された拡張子情報が一覧表示されます。

本仮想フォルダでの操作対象とする拡張子を選択します。下位の仮想フォルダは、本仮想フォルダで選択した拡張子のみが操作対象として選択が可能となります。

### 3.4. 表示ファイルに対するフィルタ設定

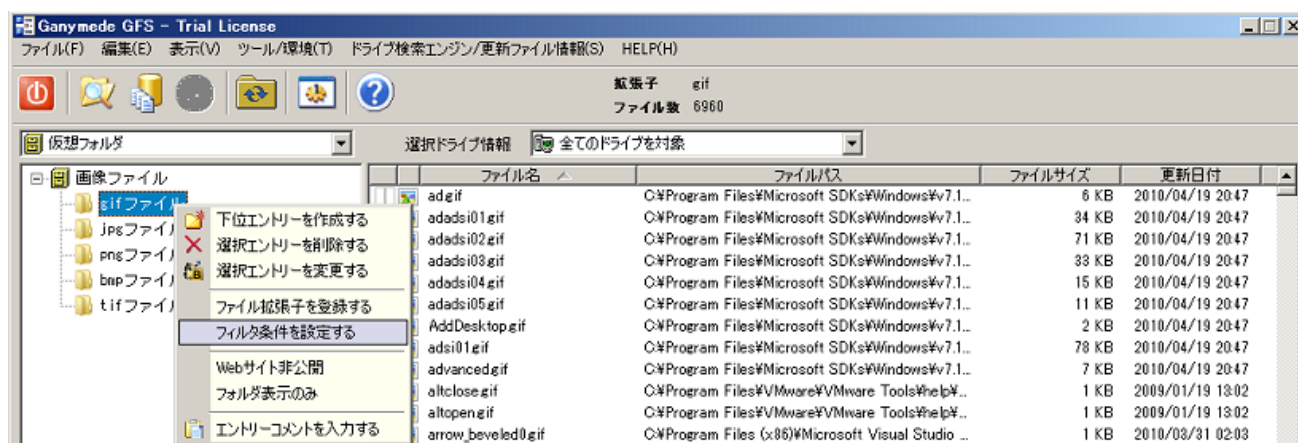


仮想フォルダにリンクした拡張子のファイル数が多い場合、目的のファイルの検索に時間を要する場合もあるかと思います。そのような時はフィルタ設定を活用して下さい。

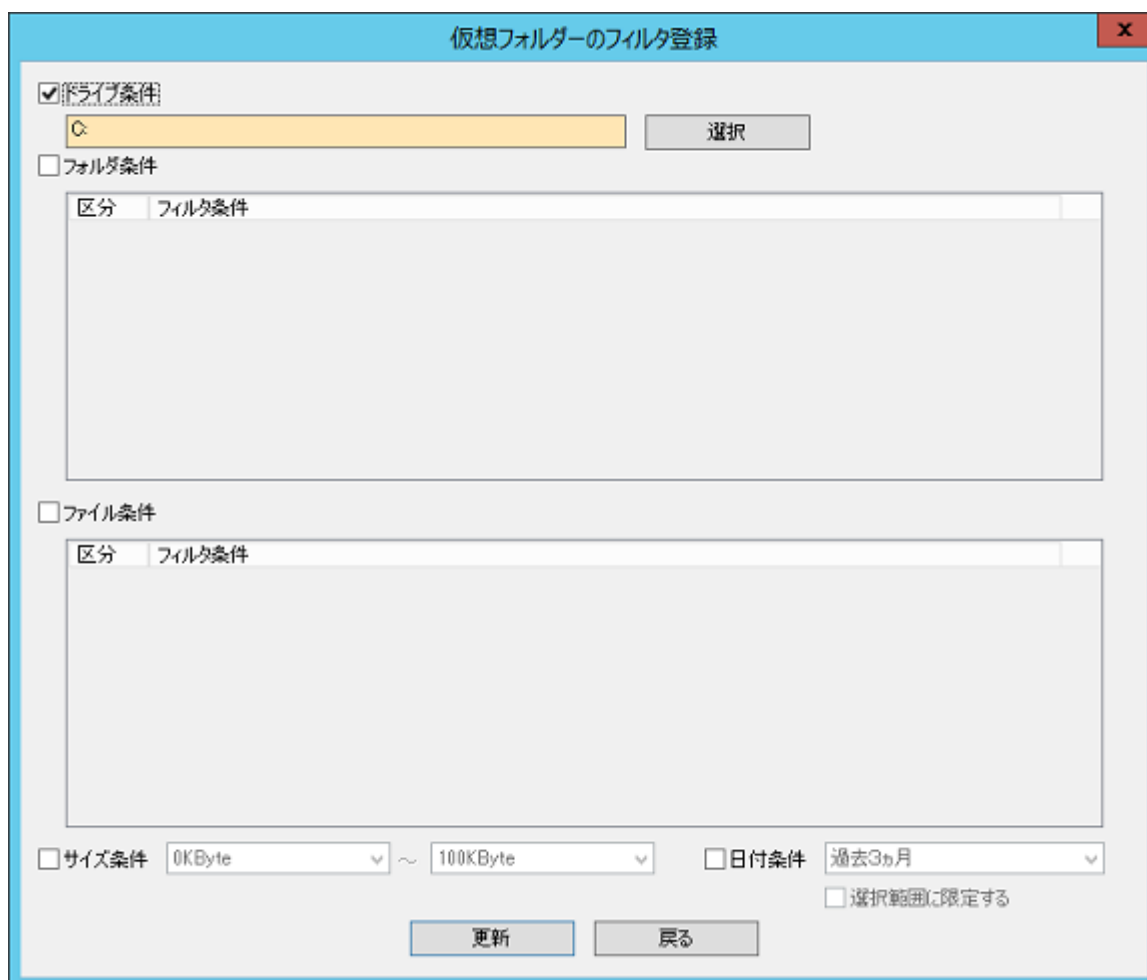
フィルタ設定は個々の仮想フォルダ単位で設定することができ、また複合条件の設定も行えます。

ドライブ単位・フォルダ単位・ファイル名での絞り込み等が行えます。

## 3.5. フィルタ設定の編集画面



設定する仮想フォルダを選択してマウスボタン右クリック → 「フィルタ条件を設定する」を選択して、フィルタ条件の設定画面を起動します。



ドライブ・フォルダ・ファイル名・ファイルサイズ・ファイル更新日付けの各フィルタ設定が可能です。また、各条件を複合しての設定も可能です。その場合は AND 条件となります。

**【ドライブ条件】**

- ・出力対象のドライブ選択します。
- ・複数ドライブの選択が可能です。

**【フォルダ条件】**

- ・フルパスでの指定となります。
- ・抱合パスと除外パスの登録が可能です。
- ・抱合パスとは、指定されたフォルダ内に存在するファイルおよびフォルダを出力対象とします。
- ・除外パスとは、指定されたフォルダ内に存在するファイルおよびフォルダは出力対象外とします。
- ・複数の条件を登録した場合は、**OR** 条件となります。
- ・登録フォルダ名のパス長は、英小文字で「**156 バイト**」までです。

**【ファイル条件】**

- ・ファイル名の指定となります。
- ・入力文字に制約はありません。
- ・ファイル拡張子は含みません。
- ・抱合指定と除外指定の登録が可能です。
- ・完全一致、前方一致、部分一致、後方一致の指定が可能です。
- ・前方一致は、「**AAA\***」形式で入力して下さい。ファイル名前方と「**AAA**」を比較します。
- ・部分一致は、「**\*AAA\***」形式で入力して下さい。先頭から順に「**AAA**」を比較します。
- ・後方一致は、「**\*AAA**」形式で入力して下さい。ファイル名後方と「**AAA**」を比較します。
- ・複数の条件を登録した場合は、**OR** 条件となります。
- ・登録ファイル名の長さは、英小文字で「**36 バイト**」までです。

**【サイズ条件】**

- ・ファイルサイズの指定になります。
- ・除外指定の設定はありません。
- ・指定された範囲内のファイルが対象となります。

**【日付条件】**

- ・ファイル更新日付けがフィルタ検証の対象となります。
- ・除外指定の設定はありません。
- ・「**過去 3 ヶ月**」を指定した場合、検索処理時刻を起算日として「**3 ヶ月以内に更新**」されたファイルが対象となります。
- ・「**選択範囲に限定する**」をチェックした場合、上記の設定は逆転します。  
「**過去 3 ヶ月**」指定の場合、検索処理時刻を起算日として「**3 ヶ月以上前に更新**」されたファイルが対象となります。

#### 4. ベース分類グループの登録

Web サイト側で仮想フォルダにリンクされたファイル情報を閲覧する場合、その閲覧対象の仮想フォルダと分類グループの紐付けが必要となります。

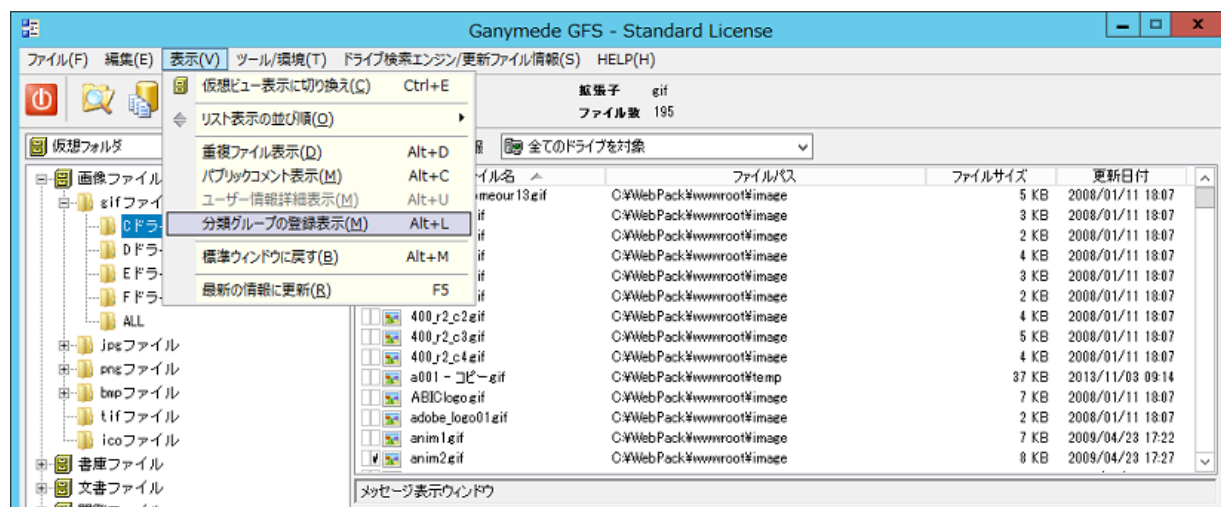
分類グループの紐付けが行われていない仮想フォルダは、Web サイトの選択リストからは除外します。

Web サイト側は、分類グループに登録されている利用者情報に基づきサービスの提供を行います。

分類グループとして閲覧の許可設定が行われていない仮想フォルダの閲覧は行えません。



##### 4.1. 登録画面への切り替え



ファイルメニューの表示メニュー内の「分類グループの登録表示」を選択して下さい。

分類グループの登録処理用の画面に切り替えます。







#### 4.4. ベース分類グループの登録画面

[illegible]

【初期状態に戻す】

- ・初期起動時の状態に戻します。

【登録状況】

- ・登録済みの基準グループが存在した場合は表示します。
- ・リストビュー枠内クリックで、新規エントリーの登録画面を起動します。

【登録】

- ・編集内容を確定する場合にクリックします。

【中止】

- ・編集画面を閉じる場合にクリックします。

#### 4.5. ベース分類グループの選択画面

分類グループの登録

登録リスト 部門グループ

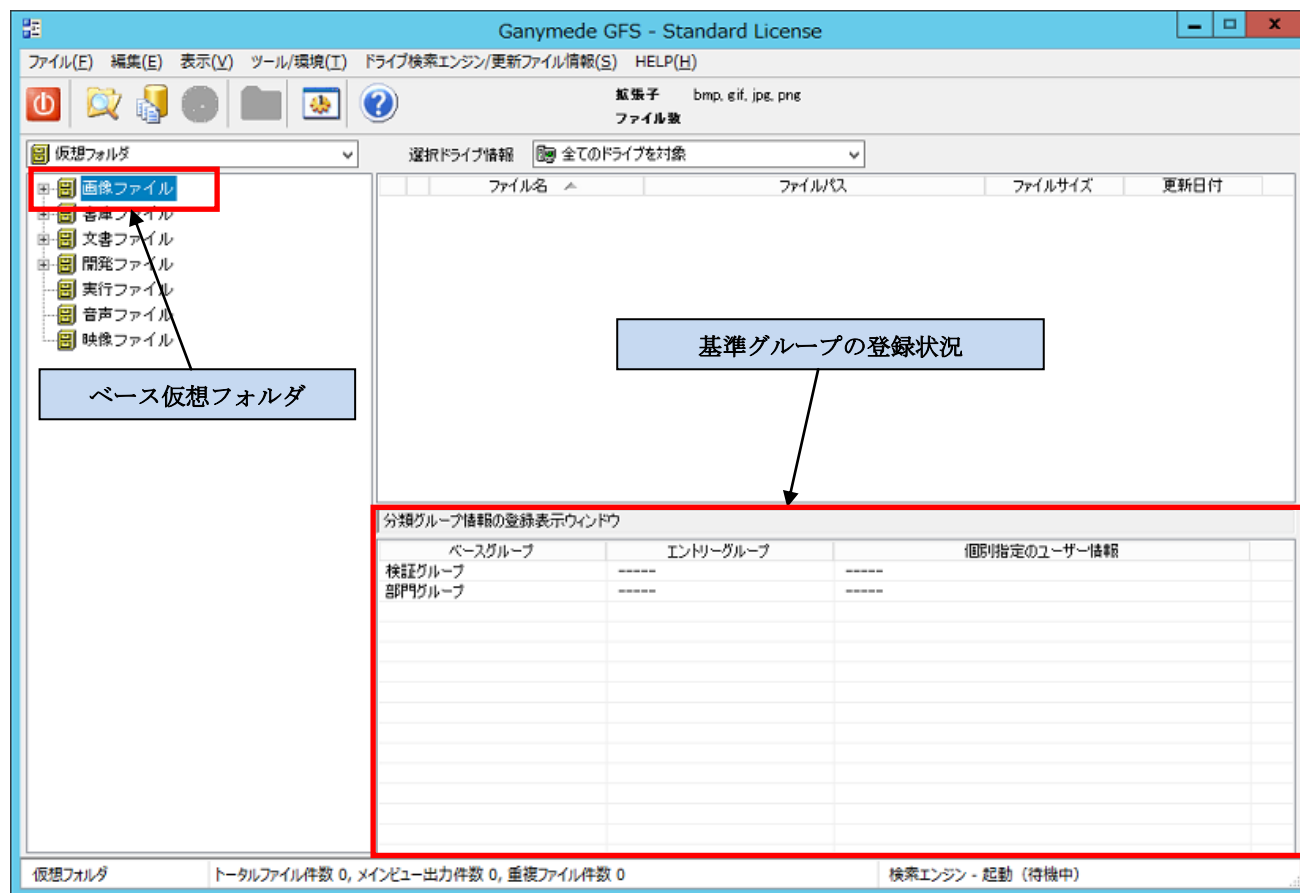
登録中止

未登録の基準グループが登録リストボックス内に表示されます。

リンク設定する基準グループを選択後、「登録」ボタンをクリックして下さい。

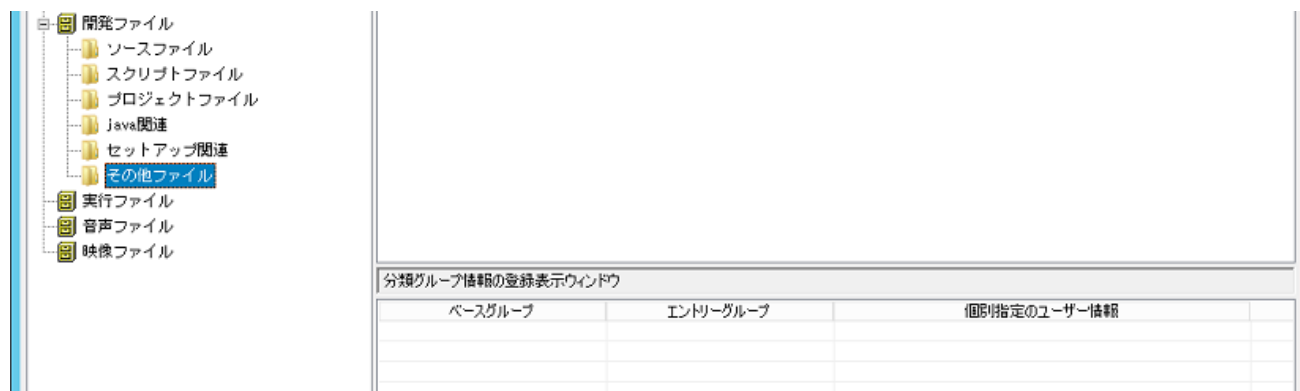
## 5. 利用者ユーザー登録分類グループの登録

検索ファイルの表示を担当する各仮想フォルダは、ベース稼働フォルダに登録された基準グループの情報を引き継ぎます。ベース仮想フォルダに登録されていない基準グループの登録は行えません。



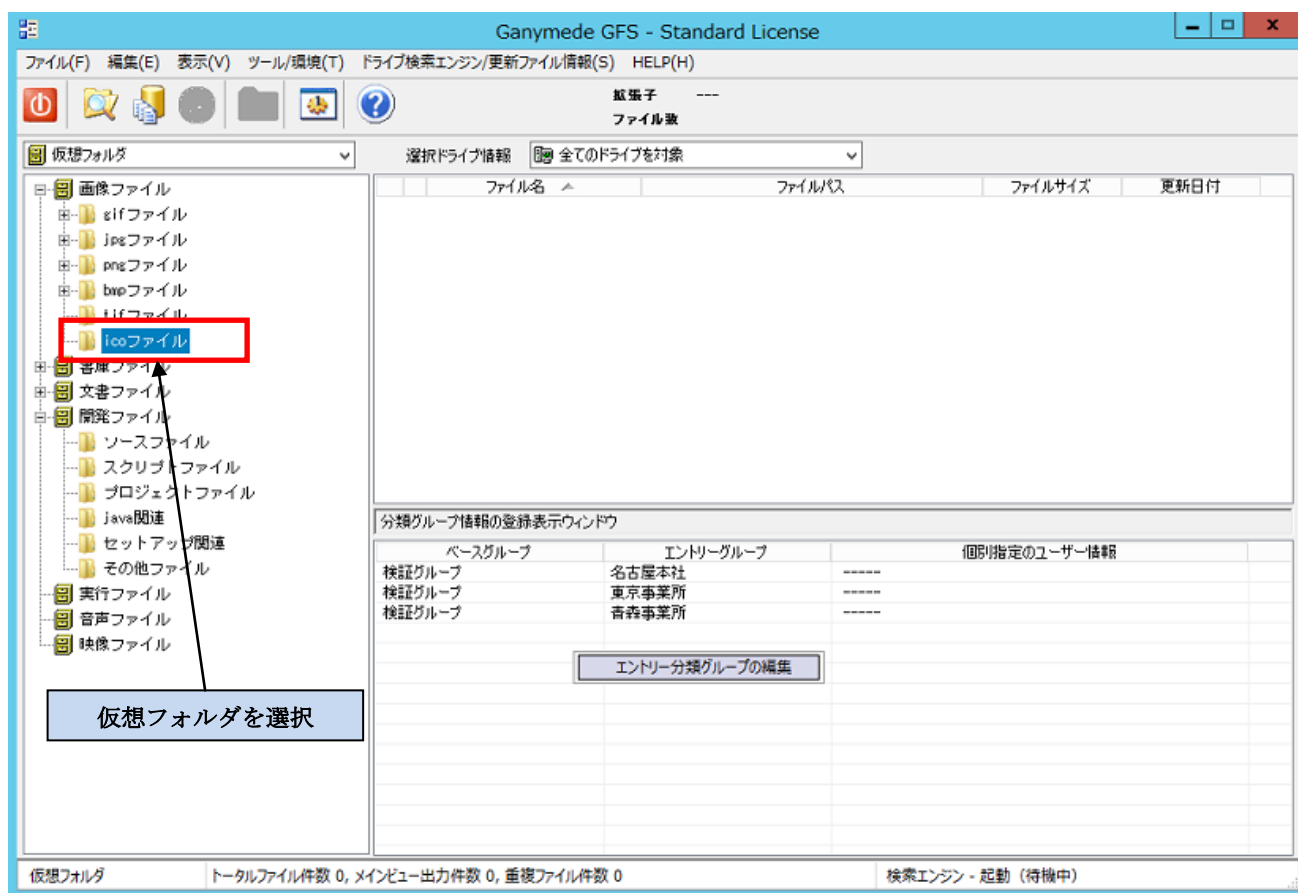
上記設定の場合、ベース仮想フォルダ「画像ファイル」の下位仮想フォルダは、基準グループとして登録されている「検証グループ」および「部門グループ」配下の分類グループの登録が行えます。

尚、分類グループに関する設定に関しましては、上位仮想フォルダに設定内容をそのまま適用しません。必ず、紐付ける分類グループの選択は行って下さい。



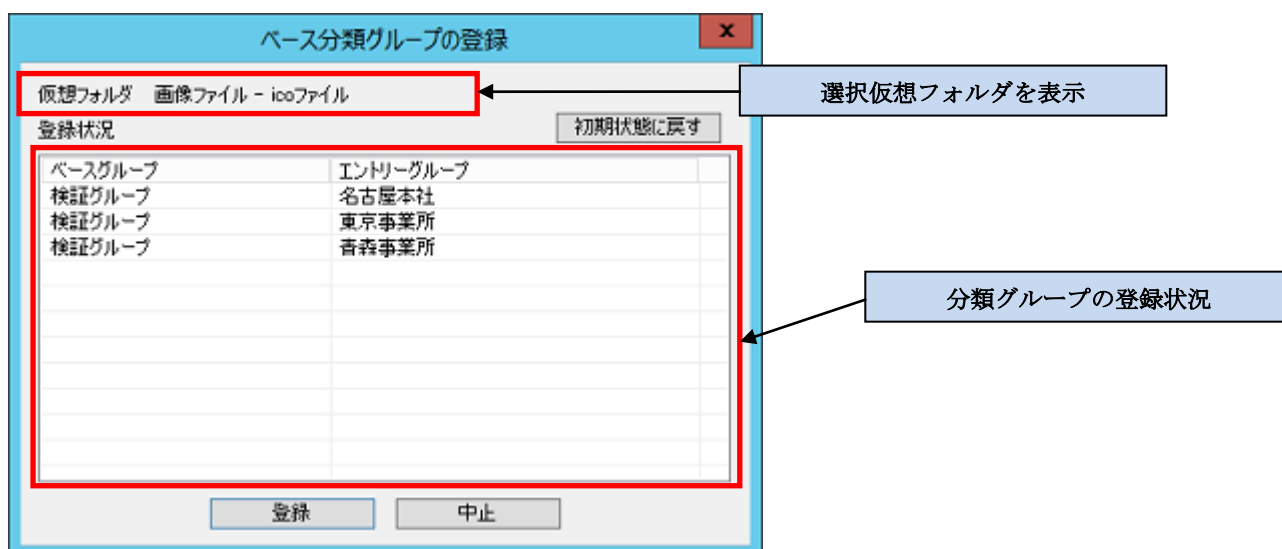
上記のベース仮想フォルダ「開発ファイル」には基準グループ「検証グループ」の割り当ては実施済みですが、下位仮想フォルダ「その他ファイル」は未割当状態です。

## 5.1. 仮想フォルダに分類グループを登録



録する仮想フォルダを選択し、分類グループの表示画面のリストビュー枠内でマウスボタン右クリック  
「エントリー分類グループの編集」を選択して下さい。  
エントリー分類グループの編集画面を起動します。

## 5.2. エントリー分類グループの編集画面



分類グループ表示リストビュー枠内でマウスボタン右クリック「新規エントリーの登録」を選択して、  
分類グループの追加登録画面を起動します。

5.3. 分類グループの追加登録

分類グループの登録

登録リスト 部門グループ +- 管理部門

登録 中止

検証グループ	名古屋本社
検証グループ	東京事業所
検証グループ	青森事業所

登録 中止

登録リスト内に表示されている分類グループより、本仮想フォルダの閲覧を許可する分類グループを選択して下さい。



ベース分類グループの登録

仮想フォルダ 画像ファイル - icoファイル

登録状況 初期状態に戻す

ベースグループ	エントリーグループ
検証グループ	名古屋本社
検証グループ	東京事業所
検証グループ	青森事業所
部門グループ	管理部門
部門グループ	営業部門
部門グループ	開発部門
部門グループ	保守部門

登録 中止